



たたかう労働運動を新たなステージへ

レバカレ 2025

(レイバー・ユニオン・カレッジ)

参加者しおり

10月11日(土)

11:00 受付開始
13:00-14:00 全体会Ⅰ
オープニングトークセッション
「レバカレってなに？ あなたは何を変えたいか」
14:30-16:00 分科会 A
16:30-18:00 分科会 B

10月12日(日)

8:00 受付開始
9:00-10:30 分科会 C
11:00-12:30 全体会Ⅱ
スペシャルトークセッション
「労働運動の未来は誰がつくるか」
昼食休憩
13:30-15:00 分科会 D
15:30-17:00 分科会 E
18:00-20:00 夕食交流会(要事前申込)

10月13日(祝)

9:00 受付開始
10:00-11:30 全体会Ⅲ
クロージングトークセッション
「新たな運動のスタート この学びをみんなのものに」

メイン会場 ビジョンセンター東京・京橋

サブ会場 ビジョンセンター東京・八重洲



公式 LINE

登録必須！
集会中の情報は
公式 LINE にて
発信します。



ウェブサイト



LUC.ZENROREN
Instagram



主催：全労連 レバカレ実行委員会

<受付について>

◆京橋 402 会議室 (受付・総合案内) のご案内

- ・受付開設時間
10/11(土) 11:00 ~ 18:45
10/12(日) 8:00 ~ 20:45
10/13(月) 9:00 ~ 12:15
- ・参加者は初めに必ず受付(京橋 402 会議室)にて、1人ずつ受付を行い、参加者証としおりを受け取ってください。団体での一括受付や途中参加者の代理受付は行いません。
- ・受付済で参加者証を持っている方は、2日目以降再度受付を行う必要はありませんので、各会場へ直接お越しください。
- ・参加者証の記載間違い、登録内容の変更、参加者証の紛失・持参忘れ、その他参加についてのお問い合わせは受付(京橋 402 会議室)の受付か、緊急連絡先の携帯電話にご連絡ください。

◆参加者証について

参加者証は会場内では必ず首に掛けてください。掛けていない方は全体会場、分科会場とも入場できません。紛失・持参忘れの場合は再発行が必要です。必ず京橋 402 会議室に来てください。

◆クローグについて

大きなお荷物は受付(京橋 402 会議室)で開設時間内預かります。貴重品は自身で管理してください。なお、日を跨いで預かることはできません。各日必ず荷物を取りに来てください。荷物の返却の際、半券の色・番号を確認するので、紛失に注意してください。

◆落とし物について

総合案内(京橋 402)で預かります(10月13日12:15まで)。集会終了後は全労連事務局までお問合せください。

◆緊急連絡先

090-8342-0227 ※集会期間中のみ

◆救護室

体調が悪くなった場合には、会場内の救護室(京橋会場 809B 会議室)でお休みいただけます。また、全体会が行われていない時間帯は全体会会場(京橋会場 401 会議室)で飲食や休憩など自由にお過ごしください。

◆託児室

託児室の利用を申し込まれている方は京橋 405 会議室へお越しください。

◆分科会への参加について

分科会会場への入場は各分科会運営者の指示に従ってください。なお分科会の参加は事前予約制ではなく、**先着順**です。満員で入れないときは、他の分科会へ移動をお願いします。分科会の混雑状況は公式 LINE にてお知らせします。

◆分科会運営される方へのお願い

次の分科会準備のため、終了時間は厳守してください。また、終了後は分科会会場に滞留せず、すみやかに次の運営者へ部屋の明け渡しをお願いします。その際、時間に余裕があれば、次の分科会の会場設営のお手伝いにご協力ください。

◆写真・動画、撮影取材について

レバカレ取材班の他にマスメディアなどが取材・撮影を行います。全体会や夕食交流会では、撮影禁止エリアを設置します。また分科会や個人間で撮影・投稿する際には、参加者同士で確認をお願いします。万一、削除や加工などが必要な写真・動画がオンライン上に投稿された場合は、事務局が対応しますので公式 LINE にお知らせください。

◆トイレ、会場周辺の昼食ができる店舗についてのご案内

Instagramとホームページで紹介します。



Instagram



ホームページ

◆あっせんホテルについて

勤労者レクリエーション協会を通してホテルあっせんに申し込まれた方については、参加者証に宿泊先を記号で明記しています。宿泊先の住所など詳細を以下のQRコードからご確認ください。



レバカレ 2025 「対話と学びあいの約束ごと」(案)

私たちは、レバカレ 2025 において、参加者の安全が保たれ、安心して対話と学びあいを深められる場となるよう、以下「対話と学びあいの約束ごと」に基づいて、集会参加し、ともに労働運動の新たなステージへ第一歩を踏み出します！

1. 私たちは、平等・対等な関係性です。
2. 私たちは、異なる多様な背景・価値観を持つ者同士、お互いを尊重します。
年齢や性別、見た目で判断せず、“さん”などで呼び合う*1 ようにしましょう。
3. 私たちは、差別的な発言・言動、ハラスメントや暴力、妨害行為をしません。
4. 私たちは、安心して参加できるよう心理的安全性*2 を大切にし、コミュニケーションをとります。他の人が話したい気持ちも大切にし、話せる雰囲気づくりをみんなでつくります。
5. 私たちは、相手の意に反して、人のプライバシー（私生活に関する質問、年齢・学歴・宗教・性自認・性的指向・障害・政治的意見等）について立ち入ることは、しません。
プライバシー・個人情報に配慮して、写真・動画撮影には注意します。
6. もし誰かが不快な思いをしているのではないかと気づいた場合は、見過ごすのではなく、立ち止まってともに考え、問題解決に努めます。
7. もし話すことに疲れたり、居心地が悪く感じたりした場合は、無理せず、席を外して休んで大丈夫です。

(全体会、分科会のスタート時に、毎回読み上げて確認します)

*1 “さん”付けで呼び合う：年上の人が年下の人を呼ぶ時、呼び捨てにすることや「～君」と呼ぶこと、男性が女性を呼ぶ時、「～ちゃん」と呼ぶことがあるが、そのように呼ばれる側は、本当にそれを快適だと感じているのでしょうか。世代間・性別間のハラスメントの要因になったり、相手の性自認を無視した行動になったりしていないでしょうか。今集会では、「約束ごと」1の下、「～さん」などで、お互いの平等・対等な関係性を尊重しましょう。

*2 心理的安全性：率直であることが許されるという感覚。チームのメンバーが、率直に意見や疑問、懸念等を表明しても、罰せられたり、仲間外れにされたりする心配がない状態。エイミー・C・エドモンドソン教授（ハーバード大学）が提唱した心理学用語。

レバカレ 2025 「夕食交流会の約束ごと」(案)

私たちは、レバカレ 2025 夕食交流会において、上記「対話と学びあいの約束ごと」に加えて、以下の約束ごとに基づいて、交流を楽しみます。

1. 私たちは、飲酒を強要せず、適量を楽しみます。
2. 私たちは、ジェンダーに関わる固定観念に基づいた役割分担をせず、必要なことはみんなで役割を担います。
例) お酌、お料理の取り分け、片付け等

(スタート時に、読み上げて確認します)

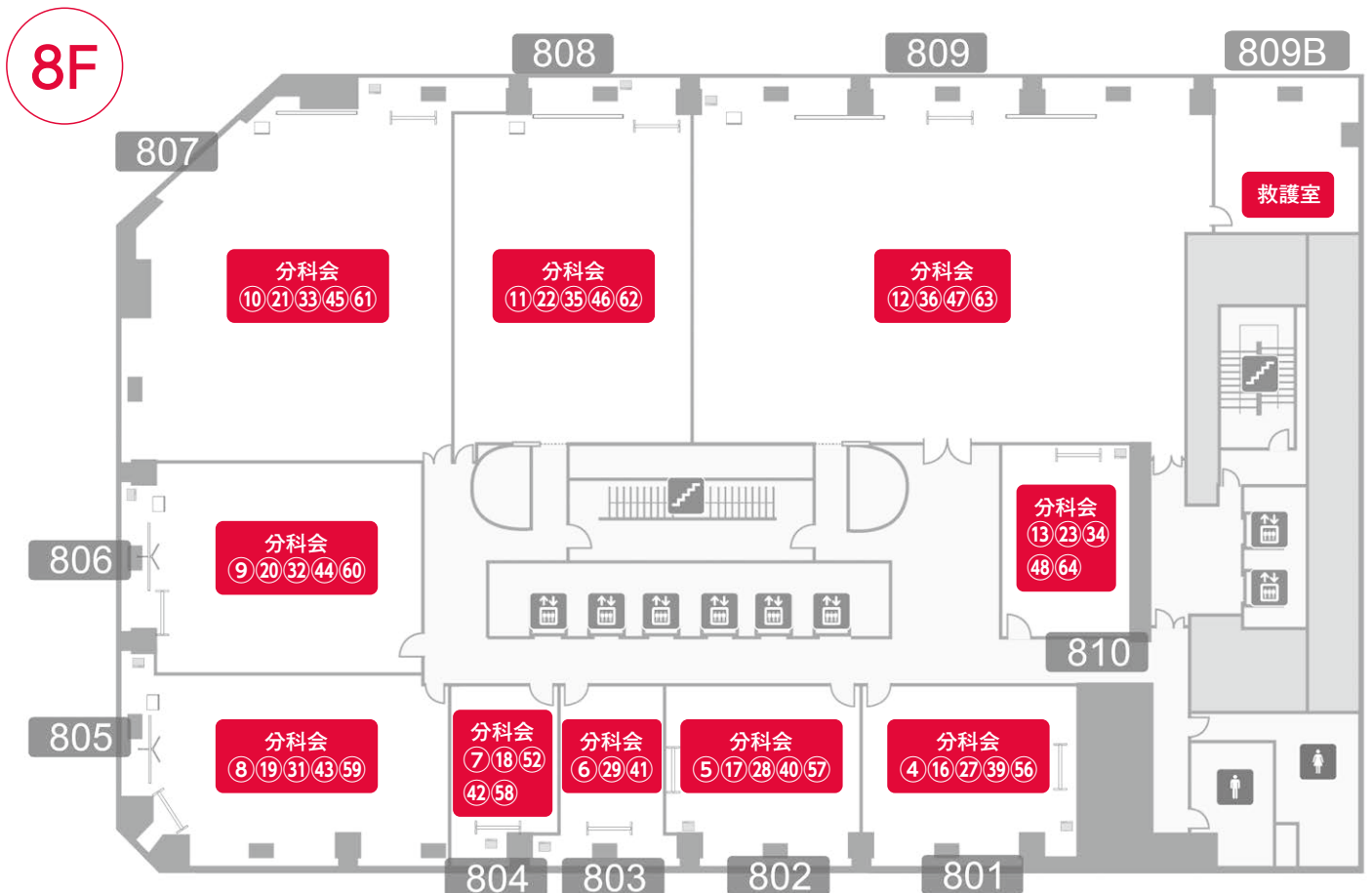
会場案内

■ビジョンセンター東京 京橋

撮影禁止エリア

全体会・夕食交流会の間はエリア
内での撮影は禁止です。

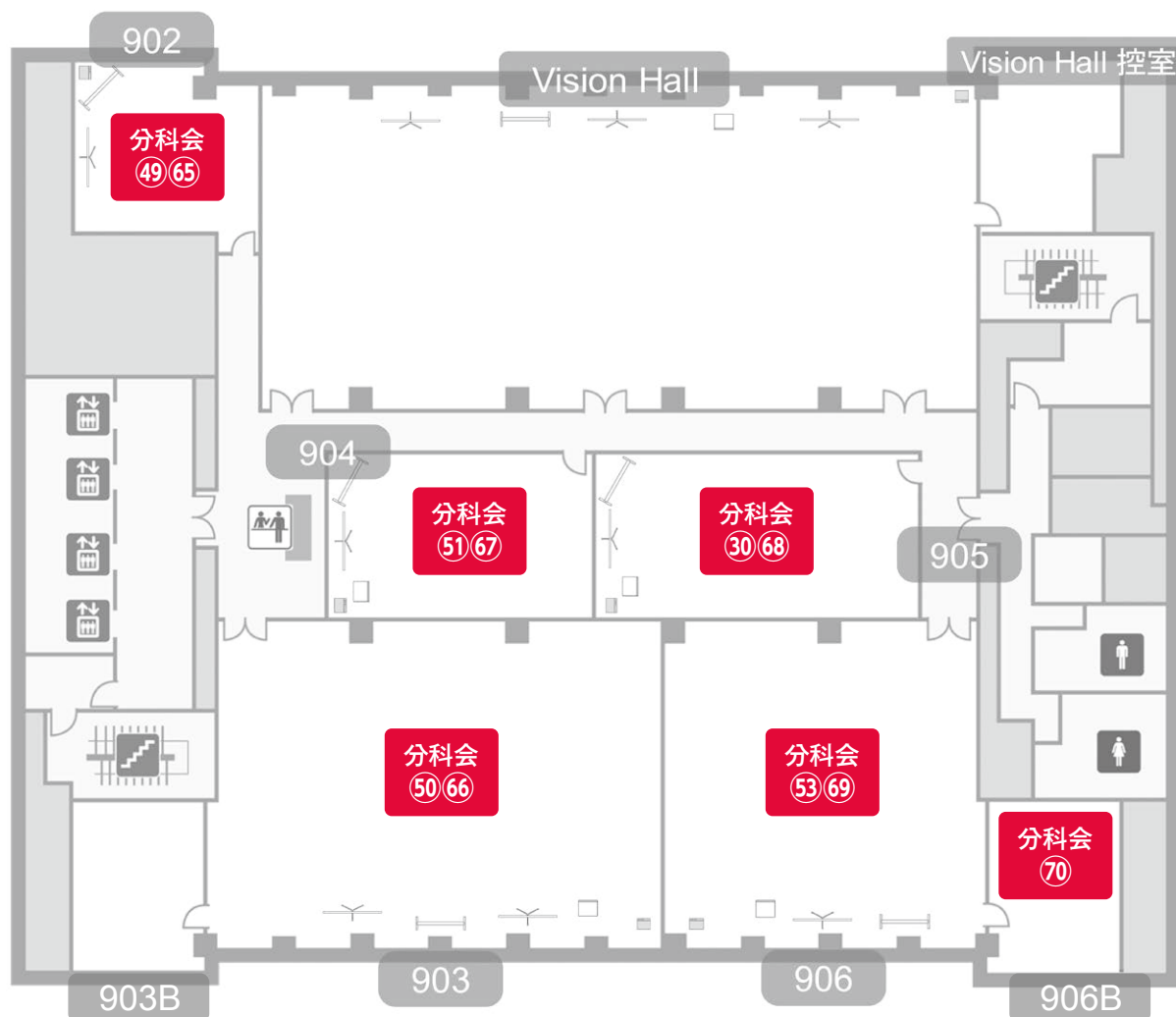
全体会・夕食交流会場



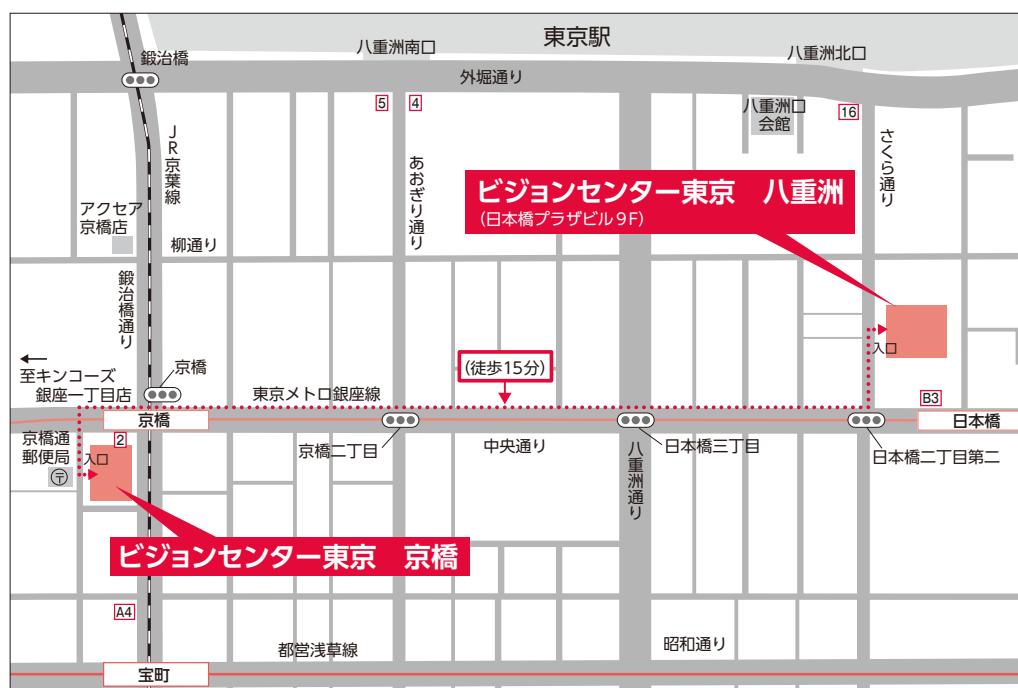
会場案内

■ビジョンセンター東京 八重洲

9F



■アクセス MAP



※京橋会場と八重洲会場は
徒歩約11分(750m)です。

ビジョンセンター東京 京橋

- 東京メトロ銀座線「京橋」駅
2番出口 徒歩6分(駅直結)
- 都営浅草線「宝町」駅
A4出口 徒歩2分
- JR「東京」駅 八重洲南口
徒歩8分

ビジョンセンター東京 八重洲

- 東京メトロ銀座線・東西線・
地下鉄都営線「日本橋」駅
B3出口 徒歩1分
- JR「東京」駅 八重洲北口
八重洲地下街16番出口
徒歩2分

全体会 プログラム

レバカレ2025の3日間を通じて、参加者のみなさんの経験、学び、感想を結び、交流する節目が全体会です。全体会の様子はYouTubeの全労連チャンネルでも配信します。



配信 URL はこちら

10月11日(土) 13:00～14:00

全体会 1 Introduction ～導入

「レバカレってなに？ あなたは何を変えたいか」

ファシリテーター：高木りつさん（全労連）

パネリスト / 冨永華衣さん（首都圏青年ユニオン）、柏原 剛さん（生協労連関東地連）、
更科ひかりさん（スイミーの会）

10月12日(日) 11:00～12:30

全体会 2 Shape ～深める

「労働運動の未来は誰がつくるか」

スペシャル・トークセッション

アドバイザー エレン・D・フリードマン さん
(レイバーノーツ)



パネリスト / 岡 薫さん（北海道勤医労）、塩森真由美さん（愛知自治体一般・大府分会）、
松井優希さん（地域労組こうとう）

10月13日(月)祝 10:00～11:30

全体会 3 Future ～未来へ

「新たな運動のスタート この学びをみんなのものに」

ファシリテーター：黒澤幸一 さん（全労連）

パネリスト / 古川真由美さん（群馬県医労連）、吉田帆^{ほくと}駆斗さん（回転寿司ユニオン）、
内田和隆さん（生協労組おかやま）

参加者と
つくる

夕食交流会

2日目

10月12日(日)

18:00-20:00

会場：京橋 401

レバカレの2日目の夜、参加者が一堂に会する“最大のイベント”夕食交流会！全70の分科会を通じて、湧いてきた熱い思いや深まった思いを交流しましょう。美味しい食事と飲み物、楽しい企画をお楽しみに！

申込みは締切ました



■レバカレ 2025 全体会・分科会会場一覧

部屋 番号	10月11日(土)			10月12日(日)					10月13日 (月・祝)
	全体会 I	分科会 A	分科会 B	分科会 C	全体会 II	分科会 D	分科会 E	夕食交流会	全体会 III
	13:00-14:00	14:30-16:00	16:30-18:00	9:00-10:30	11:00-12:30	13:30-15:00	15:30-17:00	18:00-20:00	10:00-11:30
401	全体会 I	東アジアレイバークフェスとの関連企画 パネル展「東アジア労働史」・物販コーナー		東アジアレイバークフェスとの関連企画 パネル展「東アジア労働史」・物販コーナー	全体会 II	東アジアレイバークフェスとの関連企画 パネル展「東アジア労働史」・物販コーナー	—	夕食交流会	全体会 III
401C	—	①排外主義に対して 私たちはどう考えるか	⑭ぼそぼそ声の組合 民主主義	②④労働基本権制約に 抗う！ 「全国一斉定時ア クション！」	—	⑦愛高教、組織強化	—	—	—
403	—	②東アジアレイバークフェスとの運動企画 I 大衆教育と労働運動	⑮10の問いからさぐ る〈国家公務員のリアル〉～分断では なく連帯を～	⑤現場発！ こうすれ ばできる公務非正 規のなかつくり ～組織化の処方箋 ～セッション1	—	⑥現場発！ こうすれ ばできる公務非正 規のなかつくり ～組織化の処方箋 ～セッション2	③やってみよう！ 加入につながる対 話トレーニング	—	—
404	—	③自分の言葉で要求を語ろう！ あなたの要求からはじまる模擬団体交渉		⑥性別役割分業から 脱却し、一人ひと りが個人として尊 重される社会へ	—	⑧ローカルユニオン・ 個人加盟ユニオン の未来	⑤労働相談活動をど う拡げるか	—	—
801	—	④若手活動家をどう つくるか？	⑮労働者教育、労働 組合で学ぶ物の見 方・考え方（ニシ メ塾）	⑦私たちの賃金はな ぜ上がらないか～ 働いた価値を再配 分しよう	—	⑨賃金・労働条件を 決めているのは誰 だ？！ 決定権を持つ親会 社やファンドに団 交応諾を	⑥人権としての賃金・ 労働時間 ～最低賃金と職場 の賃上げ	—	—
802	—	⑤メディア講座 I 「SNSの活用で組 合員が増えるって 本当ですか？」	⑮実録！ 地方組織 での産別の作り方	⑧非正規春闘	—	⑩メディア講座 II マスコミをオルグ せよ！ 効果的な記 者会見の方法	⑦全員対象のスト ライキをやってみて	—	—
803	—	⑥解雇・雇止め・労働条件切り下げとどうたたかう		⑨わくわく講座テキ スト読書会	—	④成果主義・査定、 ジョブ型人事とどう たたかうか？	—	—	—
804	—	⑦生理 より活動し やすい期間にする ために	⑮仕事と健康、どちら が大切ですか～ロー アン活動って何？（あ なたのココロは大丈夫？）	⑩東アジアレイバーク フェス 運動企画 II ロサンゼルス教員組 合のたたかひに学ぶ	—	⑩仕事と健康、どちら が大切ですか～ロー アン活動って何？（あ なたのカラダは大丈夫？）	⑧障がいのある労働 者と労働組合	—	—
805	—	⑧ココロを近づける 日々のコミュニ ケーションと対話	⑮要求を練り上げ勝ち 取るまでの「プロセ ス」と仲間増やしの 「楽しさ」を学ぶ	⑪職場に同性パート ナーシップ制度を つくるための活動 交流	—	④組織を編む	⑨ストを構える非正 規公務員	—	—
806	—	⑨この格差おかしく ない？ 正規と非正規の格 差を見える化しよ う	⑮スシローストラ イキの表と裏	⑫労働組合って古い？ と思っていた自分が 今ここにいる理由 ～無関心だった若手 がなぜ「運動の担い 手」になったのか～	—	④平和って当たり前 じゃないって話！	⑩青年部がない中で 青年の運動をどう つくるか	—	—
807	—	⑩医療介護労働者で もできた！ 初めての 1日ストライキ	⑮「手法」から考える 労働運動② 心に届くスピーチ とは？ストーリー の持つ力を体験	⑬会議でシーンとす るチームを心理的 安全性で変える！ ～ポイント講義と チャレンジ事例を みんなでシェア～	—	⑤「手法」から考える 労働運動⑥ チーム作りの実践 から学ぶ～効果的 なチームの実践を 知る	⑥戦後 80 年を考 える「猫は生きている」 上映会	—	—
808	—	⑪「手法」から考える 労働運動① リアル！ コーチン グ道場 コーチングの手法 を学んでチャレン ジを引き出そう	⑮「手法」から考える 労働運動③ 「動員」ではない関 係づくり～関係構 築の手法を学ぶ	⑮「手法」から考える 労働運動⑤ 参加型会議の作り 方＆オンライン会 議の活用＆オンラ イン会議の活用	—	⑥チーム 0% 地域手 当を廃止し、公的 労働者の賃上げで 地域経済の活性化 を	⑦仲間を誘う対話の レシピ 声かけの難 関を乗り越えよう	—	—
809	—	⑫ハラスメントをなくす「性的同意と第3者 介入ワークショップ」		⑮対話と学びあいス クール I 無関心を乗り越え る	—	⑦「手法」から考える 労働運動（番外編） 労働組合の中の家 父長制を考える	⑧「手法」から考える 労働運動⑧ 一人ひとりの関心 を持ち寄るミーテ ィング（大会や集 会のつくり方）	—	—
810	—	⑬「措置要求で環境 改善」～学校の 治外法権に抗う～	⑮使ってみよう！ 労働委員会	⑮「手法」から考える 労働運動④ 当事者をつくる戦 略（要求と運動）	—	⑧「手法」から考える 労働運動⑦ 同志がいなくてど うしようもない	⑨社会保障運動の 沼にハマったひと にきてみて！ ～労働組合と社会 保障って、カンケイ あるの？～	—	—
902	—	—	—	—	—	⑨運動の土台となる 学習・調査・研究	⑩cafe & 集いあい でつながりづくり ～組合と共済を一 体に～	—	—
903	—	—	—	—	—	⑩対話と学びあいス クール II 組織化のための職 場分析	⑪対話と学びあいス クール III 課題をキャンペ ーンにする	—	—
904	—	—	—	—	—	⑪ストに至った単組 が躊躇・不安にど う直面し、乗り越 えるか？	⑫学生から見る労使 対等と賃金要求の 仕方	—	—
905	—	—	—	—	—	⑫「子どもたちにも う1人保育士を」 ～労働組合が社会 を動かすヒント	⑬東アジアレイバーク フェスとの運動企 画 III 台湾の労組活動家 と考える東アジア の労働者の連帯	—	—
906	—	—	—	—	—	⑬食欲と学習と交流 はサンコイチ	⑭最賃運動のモヤモ ヤ署名の先を考え る	—	—
906B	—	—	—	—	—	—	⑮26春闘ネーミング を考えよう！	—	—

対話と学びあい
深める

全 70

レバカレ分科会ガイド

※分科会中の会場の移動は可能です。

京 橋 会 場 = **4F** 401～404 **8F** 801～810 八重洲会場 = **9F** 902～906B

【開催形式アイコン】 各分科会の開催形式です

講演

パネルディスカッション

グループディスカッション

グループディスカッション

ワークショップ

ワークショップ

映像上映

映像上映

映像上映

10月11日(土) 14:30～16:00 分科会A

分科会 番号	会場	分科会内容	途中 入退室
1	401C	排外主義に対して私たちはどう考えるか 参議院選でひろがった排外主義。「外国人優遇策の見直し」などの言説が人々をひきつけ支持を集めました。支持を集めた背景には、社会の閉塞感や生活苦からの不満があります。では私たちはそれに対してどう考え、どうすればいいのか。この分科会では「人権」をテーマに今の社会について感じていることを共有し、労働組合としてできることをディスカッションを通じ考えます。 ファシリテーター：渡邊宏(全労連九州ブロック)	○
2	403	東アジアレイバーフェスとの連動企画 I 大衆教育と労働運動 労働者・組合員が、対話と学びあいを通じて、労働運動を当事者が主導する「組織化モデル」に転換していくために、労働者教育、労働者メディアはどのような役割を果たせるのかを考えます。 ファシリテーター：エレン・D・フリードマン(米国レイバーノーツ)	○
3	404	自分の言葉で要求を語ろう！ あなたの要求からはじまる模擬団体交渉 小グループに分かれて参加者のリアルな要求から始まる模擬団交を行います。要求討議ではワールドカフェの手法を用いて、要求を可視化します。その後、模擬団体交渉に臨みます。経営者役は全国一般の役員が務めます。(分科会A・B連続で行います) ファシリテーター：林真也(全労連・全国一般労働組合)、菊地亮太(全労連・全国一般労働組合)	×
4	801	若手活動家をどうつくるか？ どの労組でも次世代の担い手不足の声が聞かれます。元気に活躍する若手がどのように活動家になったのか語り、これまでの世代が何をしていたかを明らかにします。「目の前のことで手一杯」では、組織の存続はありません。 ファシリテーター：尾林哲也(首都圏青年ユニオン)、原田仁希(東京公務一般労働組合)、佐賀正悟(さっぽろ青年ユニオン)	○
5	802	メディア講座I 「SNSの活用で組合員が増えるって本当ですか？」 SNSを活用する愛知県医労連は3年連続で組合員数過去最高を更新。首都圏青年ユニオンは業種・職種別ユニオンを活性化。国公労連は職員削減を押し返そうとしています。この分科会では、全労連・小畑前議長も参加して、参加者によるグループディスカッション、登壇者を交えたパネルディスカッションを行いながら、労働組合のSNS活用の最前線を学び合います。 ファシリテーター：宮銅匠(全労連事務局) スピーカー：小畑雅子(全労連前議長)、井上伸(国公労連)、矢野彩子(愛知県医労連)、吉田帆駆斗(回転寿司ユニオン)	○
6	803	解雇・雇止め・労働条件切り下げとたたかう 解雇・雇止めなど労働条件切り下げとどうたたかえばいいのか、助言者による学習会のあと、参加者からの質問や意見、経験交流を交えながら、みんなで話し合います。いま、悩んでいること、話し合いたいことがあれば、参加者の皆さんから出してください。 ファシリテーター：三木陵一(JMITU)	○
7	804	生理—より活動しやすい期間にするために "生理"について組合や職場で話をしたことがありますか？ 普段どんな薬や生理用品を使っていますか？ お互いの経験、情報を交換しましょう。サークル形式の対話で聞きたいこと、話したいことを提案、質問、回答できます。どなたでも気軽にご参加ください。(※男性の参加も想定しています) ファシリテーター：中川ゆい子	○
8	805	ココロを近づける日々のコミュニケーションと対話 「ともに悩み、考え、乗り越える仲間がほしい」と思ったことはありませんか。労働組合が勝ち取った様々な権利があるのに、仲間に伝えられているだろうか。労働組合で頑張るようになった自らの「きっかけ」を振り返ることや、組合活動に自らが自信を持つことは大事なことで、自信を持って仲間に訴える、そのために、日常からつながり対話する経験を学び合います。 ファシリテーター：埴岸連	×

京
橋
会
場

10月11日(土) 14:30～16:00 分科会A

分科会 番号	会場	分科会内容	途中 入退室
9	806	この格差おかしくない？ 正規と非正規の格差を見える化しよう  パート・有期法は改正されたけど、本俸や一時金をはじめとした賃金格差はまだ残っている。慶弔休暇も制度化されたけど非正規は無給、これじゃあ今までと変わらない。食堂の利用も正規は割引価格で非正規は定価。それっておかしい？ 比較表を作成し、職場の格差を「見える化」しよう。明らかになった格差の解消をめざし要求書を作ってみよう。生協労連の取り組みを参考に、グループに分かれて、比較表の作成から要求書の作成まで行います。 ファシリテーター：油石博敬（日本医労連）、大黒直美（生協労連）、全労連非正規センター	○
10	807	医療・介護労働者でもできた！初めての1日ストライキ  群馬県沼田市にある利根保健生協労働組合。ベースアップにこたわりたたかった24春闘では、具体的な回答を示さない使用者に対し、初めてストライキに立ち上がりました。群馬県初の病院スト。約500人を組織する単組が、68名を指名して1日ストライキを決行した背景に、「患者・利用者に迷惑がかかるのでは」という医療介護労働者の葛藤がありました。なぜ結集できたのか。その経緯やどのように意思統一したかなど共有・交流します。 ファシリテーター：古川真由美（群馬県医労連） スピーカー：高橋陽介（利根保健生協労働組合）・森田絵美（利根保健生協労働組合）	○
11	808	「手法」から考える労働運動①  リアル！コーチング道場 コーチングの手法を学んでチャレンジを引き出そう 相談にのっているといつの間にか自分が「問題解決請負人」になっていたり、ついついやってあげることになってませんか？ 相手が自分で考えて行動できるように、主体性を引き出すための手法を学び、実際にやってみます。 ファシリテーター：越智太一（大阪府職労）、菅野暁子（宇治市職労）	○
12	809	ハラスメントをなくす「性的同意と第3者介入ワークショップ」  ハラスメントをなくすには、個人の加害行動を抑止することと加害行動を容認しない社会規範をつくる必要があります。第三者介入は事態の悪化を防ぎ、「加害行動を許さない」というメッセージの発信につながります。全労連の学習キットを使ってワークショップを体験した後に運営できるように練習します。（分科会A・B連続で行います） ファシリテーター：中村果南子（ちやぶ台返し女子アクション） 主催：全労連ジェンダー平等推進委員会	○
13	810	『措置要求で環境改善』 ～学校の治外法権に抗う～  群馬県太田市の学校では冬場のエアコン使用が厳しく制限され、震えながら授業を行っていた。市教委は「行政は無謬」という前提を崩さず、交渉でいくら訴えても「適切である」という不誠実な回答を繰り返した。そこで措置要求を行い、粘り強く抵抗することによって行政側の態度を改めさせた実践の報告。またこの事例を基に、身近な労働問題について抗い、改善していく具体的な方法を考え、交流します。 ファシリテーター：高橋航平（全群馬教職員組合） スピーカー：田中光則（全群馬教職員組合）	○

10月11日(土) 16:30～18:00 分科会B

14	401C	ぼそぼそ声の民主主義  組合活動を知ってもらい、印象を変えるちょっとした一言。ぼそっと呟いたその一言が実を結ぶことがあります。病院の集中治療室という閉鎖的目付組合活動に非協力的な環境へと配置転換することとなったパネリストが、4年かけてその体質を変革していった過程を事例に、民主主義とは何か、組合民主主義を確立・維持するために必要なことは何かを皆で考えます。コミュニケーションスキルや会議の持ち方のヒントも得られるかも知れません。 ファシリテーター：遠藤麻由（宮城県医労連）	○
15	403	10の問いからさぐる〈国家公務員のリアル〉 ～分断ではなく連帯を～  「高給とり？」「残業ばかり？」「エリート官僚？」「労働組合つくれる？」「協約結べないのに交渉？」……国家公務員についてよく聞かれる10の問いを入口に、その実態と役割について対話する分科会です。 ファシリテーター：西口想（国公労連）※予定	○
16	801	労働者教育、労働組合で学ぶ物の見方・考え方（ニシメ塾）  勤労者通信大学を活用した学習会、西銘塾（ニシメ塾）の紹介と感想交流、当日は塾長の西銘秀実さんによる入門コース第1章の模擬講演を行います。雑誌『学習の友』も紹介します。 ファシリテーター：青山光（東京医労連） スピーカー：西銘秀実（東京医労連、労働者教育協会）	○
17	802	実録！地方組織での産別のつくり方  富山・岐阜・石川・福井では、ケア労働者自身や地域のつながりを手掛かりに、手の届く範囲のネットワークを生かし、対話の場づくりに取り組みできました。地方・地域労連と地方産別が一体となり、伴走することで「点を線に、線を面に」しながら新たに生まれた産別労働組合や組織拡大の教訓、直面した課題などをワークショップを交えながら交流します。 ファシリテーター：石川県労連、石川県医労連、岐阜県労連、福井県労連、富山県労連、福祉保育労東海地本、福祉保育労滋賀、全労連	○

10月11日(土) 16:30～18:00 分科会B

分科会 番号	会場	分科会内容	途中 入退室
18	804	仕事と健康、どちらが大切ですか～ローアン活動って何？（あなたのココロは大丈夫？）  あなたはこれまで「この職場は自分の心や身体にとってヤバいんじゃないか」と思ったことはありませんか？ その原因は何なのか、どうすれば「ヤバさ」との背中合わせから逃れられるのか、一緒に考えてみませんか。 ファシリテーター：働くもののいのちと健康を守る全国センター	○
19	805	要求を練り上げ勝ち取るまでの「プロセス」と仲間増やしの「楽しさ」を学ぶ   「どうしたら要求が実現できるのか」—— どこでも悩んでいます。この分科会は、その「戦術」ではなく、「プロセス」からヒントを学びあう分科会をめざします。成功体験、うまくいなくて悩んでいるところは「何が課題なんだろう」を深め合います。その最大の力は、多くの仲間とともに思いと展望を共有して「仲間を増やす」ことです。重たい課題とせず、「楽しく」すすめることです。そんな経験も学び合います。 ファシリテーター：埴野連	○
20	806	スシローストライキの表と裏  会社側の「スト破り」で大きく世間を騒がせた回転寿司ユニオンの「#スシローストライキ」。ストライキに至るまでの経緯やスト中の出来事など、その裏側も交えて包み隠さずトークします！ ファシリテーター：尾林哲矢（首都圏青年ユニオン） スピーカー：長友祐士（回転寿司ユニオン）、清水慧介（回転寿司ユニオン）、吉田帆駆斗（回転寿司ユニオン）	○
21	807	「手法」から考える労働運動②  心に届くスピーチとは？ ストーリーの持つ力を体験 大勢の人の心に届くスピーチには秘訣があります。「価値観」を伝えることで感情的理解を促す【パブリック・ナラティブ】の手法を学び、実際にやってみてストーリーの持つ力を実感するミニワークです。 ファシリテーター：更科ひかり（スイミーの会）	×
22	808	「手法」から考える労働運動③  「動員」ではない関係づくり～関係構築の手法を学ぶ 相手と一緒に活動する関係をつくるためには、自分も相手もどんな価値観を持っているか？ がカギになります。お互いに価値観を探りあい、「動員」ではない関係づくりについて実践を通して学びます。 ファシリテーター・スピーカー：伊藤賢太（北海道医労連）、越智太一（大阪府職労）	○
23	810	使ってみよう！ 労働委員会  「一方的に労働条件が引き下げられた」「まともに団体交渉に応じない」…職場の「困った！」に労働委員会って使えるの？ 職場の労働条件改善のために役立つの？ 労働者委員が実際の事例を交えてパネルディスカッションし、参加者みんなで、労働委員会を使っの経験や課題を交流します。労働委員会を使ったことのない人も素朴な質問も大歓迎。要求実現のために役立つ労働委員会にするのは、私たち自身！ ご参加お待ちしております！ ファシリテーター：久保桂子（東京労連） スピーカー：北口明代（前中労委労働者委員）、森治美（都労委労働者委員、全労連・全国一般）、三浦宜子（中労委労働者委員）	○

10月12日(日) 9:00～10:30 分科会C

24	401C	労働基本権制約に抗う！ 「全国一斉定時アクション！」    職場の声・要求を届けるには、現場の当事者からの発信が重要です。全教は各学校職場から声をあげる「全国一斉定時アクション」に取り組みました。長時間過密労働の学校職場で定時に退勤するのはストライキと同じこと。労働基本権が制約された公務職場で何をどう取り組むのか考えます。 ファシリテーター：山口幸紀（全教） スピーカー：山元幸一（全教）、菱山充恵（京都教職員組合）、他	○
25	403	現場発！ こうすればできる公務非正規のなかまづくり～組織化の処方箋～ セッション1  現場発！ シン・なかまづくり、つまらない「発表会」 ほとんどが女性！ ほとんどが未組織！ 法律にも制度にも守られない公務非正規の実態！ その「誇りと怒り」に労働組合はどう応えるの？ なかまづくりの処方箋を、現場発のリアルからひも解き、当事者・専門家・労組によるトークセッション、「対話と学びあい」から導き出します。（分科会C・D連続で行います） ファシリテーター：原田仁希（東京公務公共一般労組） スピーカー：愛労連、兵庫自治労連、自治労連新潟県事務所、たかまつ学童保育ユニオン、東京公務公共一般労組	○
26	404	性別役割分業から脱却し、一人ひとりが個人として尊重される社会へ  現在の税・社会保障システムは40年前につくられ、夫が働き妻が専業主婦であることを基本とし、世帯単位となっています。いま、働き方や家族ありかたの多様化により、税と社会保障の見直しが始まっています。個人の尊厳が尊重され自立して生きられる制度とは？ 参加者どうして語りあいましょう。 ファシリテーター：生協労連	○

10月12日(日) 9:00～10:30 分科会C

分科会 番号	会場	分科会内容	途中 入退室
27	801	私たちの賃金はなぜ上がらないか～働いた価値を再配分しよう  賃金を人権として捉えた時、「全国一律最賃制」による底上げと、公契約法制定による中間・熟練層の引き上げが求められています。日本の労働者・国民を貧しくした新自由主義政策をたどりながら、その打開策としての「全国一律最賃制」と中小企業政策について討議します。 ファシリテーター：全労連・全国一般、全労連・全国一般東京地本	○
28	802	非正規春闘  物価高騰下、非正規労働者の生活圧迫が深刻化するなか、コロナ禍のネットワークを土台に結成した非正規春闘。既存の春闘とは異なるたたかい方、打ち出し方で注目されているが、各組合がどのように位置づけて加わっているか、どう発展させるかを話し合います。 ファシリテーター：吉田帆駆斗(回転寿司ユニオン) スピーカー：粉川朋子(全労連・全国一般神奈川地本) 他	○
29	803	わくわく講座テキスト読書会  全労連「わくわく講座」の学習をみなさんはどう進めていますか？ わくわく講座の学習の方法として読書会はどうでしょうか？ 今使っているわくわく講座テキストの第1章をみんなで読み合わせ、わからない言葉や書かれている内容について、みんなで質問しあいながらテキストを深めてみましょう。後半は実際の読書会を進めていくうえでの悩みなども交流します。 ファシリテーター：全労連学習教育委員会	○
52	804	東アジアレイバーフェス 連動企画II   ロサンゼルス教員組合のたたかいに学ぶ 学校閉鎖反対・教員の処遇改善・クラスサイズの適正化・より良い公共のための学校を求めてストライキに立ち上がったロサンゼルス教員組合(UTLA)。元交渉チーム責任者のアーリーン・イノウエさんに、なぜ教員たちは「違法」ストライキに立ち上がりたたかったのか話を聞き、ストライキのドキュメンタリー映画「When We Fight (私たちがたたかう時)」を鑑賞します。 スピーカー：アーリーン・イノウエ(元UTLA交渉チーム責任者)	○
31	805	職場に同性パートナーシップ制度をつくるための活動交流  同性パートナーシップ制度をテーマとした分科会です。同性パートナーシップにも対応した就業規則への改定方法、労働組合の取り組み事例、地方公務員の状況など、自由に語る90分。みなさんからの当日持ち込みテーマも大歓迎です。 ファシリテーター：職場にパートナーシップ制度をつくるユニオン(しょくぱん)	○
32	806	労働組合って古い？ と思っていた自分が今ここにいる理由  ～無関心だった若手がなぜ「運動の担い手」になったのか～ 組合の集まりに初めて参加したとき、「真面目すぎて無理」「何のためにあるの？」と感じたことはありませんか？ この分科会は、そんな違和感を抱えていた国家公務員の青年組合役員が登壇し、「自分ごと」になったきっかけを語ります。難しい話は一切なし。「正直な気持ち」で語り合う場で、民間も公務も関係なく労働組合とのちょうどいい距離感を一緒に見つけませんか？ ファシリテーター：国公青年フォーラム スピーカー：国公青年フォーラム、国家公務の青年組合員	○
33	807	会議でシーンとするチームを心理的安全性で変える！～ポイント講義とチャレンジ事例をみんなでシェア～  シーンとする組合の会議に悩んでいませんか。自分の思いを出しあってチーム力を向上させるカギになる心理的安全性を講義と事例で学びましょう。職場の組合役員が心理的安全性を踏まえて、「一人ひとりの思いを出しあえる分会運営とは？」と模索しながら、チャレンジしてきた事例報告を共有します。少人数のグループ交流では、講義や報告で気づいたことや、持ち帰ってできそうなことを深め合います。 ファシリテーター、進行とミニ講義：民谷孝則(福祉保育労) スピーカー：【事例報告】模索しながらチャレンジしてきた職場の組合役員	×
35	808	「手法」から考える労働運動⑤   参加型会議の作り方&オンライン会議の活用 「意見を聞いてもみんな黙ってる」「聞くばかりの会議で疲れる」そんな悩みはありませんか？ グループワークを通じて、参加者が楽しく参加でき、やる気を引き出す会議(オンライン含む)の運営方法について学び、考え合います。普段の会議での悩みやモヤモヤを共有しつつ、参加者どうしが話し合い、考え合う、体験する分科会です。 ファシリテーター：小松康則(大阪府職労)	○
36	809	対話と学びあいスクールI  無関心を乗り越える 活動に参加してもらおうと同僚に声をかけて、上手くいかず、壁にぶつかったことはありませんか？ 「みんな、労働組合に関心ががない」状態を「みんなが参加している」に変える手法を学びましょう。 ファシリテーター：渡邊宏(福岡県労連)、名取学(全労連)	○

10月12日(日) 9:00～10:30 分科会C

分科会 番号	会場	分科会内容	途中 入退室
34	810	「手法」から考える労働運動④ 「当事者をつくる戦略（要求と運動）」 当事者が中心となって要求（戦略的ゴール）をつくる手法を体験します。「NO！電話に給料出んわ」キャンペーンの実践を参考事例として紹介します。	○

10月12日(日) 13:30～15:00 分科会D

37	401C	愛高教、組織拡大強化 組織拡大について交流します。愛知県高等学校教職員組合の経験や各自の組合拡大を振り返り、声をかけて加入してくれた組合員がその後どのような活動をしているか。組合拡大の経験や苦労を交流し、やり取りを深めていく分科会を予定しています。 ファシリテーター：松本陵子（愛高教） スピーカー：リード発言：山内利恭（愛知県高等学校教職員組合名南支部）	×
25	403	現場発！ こうすればできる公務非正規のなかまづくり～組織化の処方箋～ セッション2 ほとんどが女性！ほとんどが未組織！法にも制度にも守られない公務非正規の実態！その“誇りと怒り”に労働組合はどう応えるのか！なかまづくりの処方箋を、現場発のリアルからひも解き、当事者・専門家・労組によるトークセッション、“対話と学びあい”から導き出します。（分科会C・D連続で行います） ファシリテーター：尾林哲矢（首都圏青年ユニオン） スピーカー：竹信三恵子（和光大学名誉教授・元朝日新聞）、川西玲子（NPO 働き方あすねっと・元自治労連副委員長）他	○
38	404	ローカルユニオン・個人加盟ユニオンの未来 ローカルユニオン（産別個人加入労組）は、一人でも加入できる組合として発展してきました。しかし今、困難も抱えています。現状と課題、これからのユニオンの未来に向けた課題をみんなでさぐりましょう。 ファシリテーター：白滝誠（CU東京）、杉本正己（JMITU三多摩地域支部）	○
39	801	賃金・労働条件を決めているのは誰だ？！～決定権を持つ親会社やファンドに団交応諾を 親会社やホールディングスが経営指導料や賃借料を先取りした後で職場の労働条件を決める仕組みが蔓延しています。昭和ゴム労組が使用者概念の拡大で団交権をチカラにたたかっています。背景にある取引先大企業・親会社・ファンド経営者に団交に応じさせる方法を学びます。 ファシリテーター：全労連・全国一般、全労連・全国一般東京地本	○
40	802	メディア講座Ⅱ マスコミをオルグせよ！効果的な記者会見の方法 さまざまな労働組合の取り組みを地元マスコミなどに取材・報道されるために必要な工夫やアプローチの方法、記者との関係をつくるスキルをなど「報道されるコツ」を現役新聞記者から学びます。記者会見の仕掛け方や効果的なプレスリリースの書き方、インタビューにはどのように答えるべきか（喋りすぎもせず、少なくとも的確に答える方法）をトレーニングする実践型ワークショップです。 ファシリテーター：塩田 彩（毎日新聞労組）、東海林智（新聞通信合同ユニオン）	○
41	803	成果主義・査定、ジョブ型人事とどうたたかうか？ いま、「ジョブ型」などと称した成果主義や評価・査定など賃金・人事制度改悪が広がっています。助言者による学習会のあと、参加者からの質問や意見、経験交流を交えながら、みんなで話し合います。成果主義や査定・評価などが入れられているところ、そのおそれのあるところなど、ぜひご参加ください。 ファシリテーター：三木陵一（JMITU）	○
42	804	仕事と健康、どちらが大切ですか～ローアン活動って何？（あなたのカラダは大丈夫？） あなたはこれまで「この職場は自分の心や身体にとってヤバいんじゃないか」と思ったことはありませんか？ その原因は何なのか、どうすれば「ヤバさ」との背中合わせから逃れられるのか、一緒に考えてみませんか。 ファシリテーター：働くもののいのちと健康を守る全国センター	○
43	805	組織を編む 労働組合活動は集団で行う組織的な活動です。この分科会では、日常活動の中で組合員の力を引き出す組織づくりや声掛けのなどの工夫について学びます。実践報告と経営学の知見をを学んだ上で、参加者みんなで経験を出し合い、具体的な技法を深めていきます。「幹部だけが任務を抱え込まないためには？」「一般組合員が力をつけるためには？」「組合員が組合に入って良かったと実感できるためには？」という問いをこの分科会で解決できればと思います。 スピーカー：垣内孝介（開智学園教職員組合）	○

10月12日(日) 13:30～15:00 分科会D

分科会 番号	会場	分科会内容	途中 入室
44	806	「平和」って当たり前じゃないって話！ 今年は戦後・被爆・そして沖縄戦終結から80年の節目の年。戦争を知らない世代が人口の9割を占めています。日本政府は基地やミサイル、弾薬庫の新設を進め、生活のすぐそばで戦争の準備が進められています。全労連青年部はユニオンユースアカデミーを2月に沖縄で開催し、沖縄戦から戦争のリアルを学び、軍事化が進む「今」を目の当たりにしました。「平和」が当たり前のまま次の未来へとバトンを渡すために私たちにできることを交流します。 ファシリテーター：全労連青年部、全労連九州ブロック（鹿児島県労連・沖縄県労連）	○
45	807	「手法」から考える労働運動⑥ チーム作りの実践から学ぶ～効果的なチームの実践を知る 一部役員だけが頑張る組織ではなく、一人ひとりが一つの目的に向かって主体性を発揮するチームの実践報告を紹介します。事例を基に、効果的なチーム作りの秘訣を学び、考えあいます。 ファシリテーター：伊藤賢太（北海道勤医協労働組合）	○
46	808	チーム0% 地域手当を廃止し、公的労働者の賃上げで地域経済の活性化を 給与構造改革以来の公務員賃金政策で、給料表自体があわせて7%も引き下げられる一方で、地域手当による格差は最大20%と、最賃と同程度の地域間格差を生んでいます。国の賃金体系の大きな目安である公務員賃金は、医療・介護・福祉などの公的労働者の賃金に影響を与えています。このような状況に対して、労働者も単産の枠を超えた共闘が必要です。各地での模索を通して、公的労働者が結集できる社会的賃金闘争のあり方を探ります。 ファシリテーター：三谷裕（山口自治労連） スピーカー：大場崇弘（自治労連埼玉本部）、波川尚志（滋賀自治労連）	○
47	809	「手法」から考える労働運動（番外編） 労働組合の中の家父長制を考える 「経験がないから黙っている」「お前の話は聞く必要がない」など否定的な発言をされたことはありませんか？労働組合活動の中の家父長制の有害性を明らかにし、誰もが対等・平等に参加できる活動には何が必要か、参加者とともに考えます。 ファシリテーター：BOD (Break Our Doubts)	○
48	810	「手法」から考える労働運動⑦ 同志がいないとどうしようもない とともに立ち上がる同志と同志が力をあわせてパワーを作り出し、タイムラインに落とし込む手法を体験します。「札幌近郊法律事務所職員労働組合」結成までを参考事例として紹介します。	○
49	902	運動の土台となる学習・調査・研究 労働問題の学習・調査・研究は、「運動の土台づくり」にもなる労働組合にとって必須のものです。改めて学習・調査・研究の意義について認識を深めていきます。まずは最低生計費や最賃引き上げの経済波及効果の試算などをピックアップし、これらの学習・調査・研究がもたらした成果等について解説していきます。そのうえで「なぜ、学ばなければならないのか」という根源的な問いについて、参加者によるディスカッションを行う予定です。 ファシリテーター：中澤秀一（静岡労研所長・静岡県立大学短期大学部）	○
50	903	対話と学びあいスクールⅡ 組織化のための職場分析 一見無秩序に見える職場でも組織化はゼロから始まるわけではありません。職場に存在するさまざまなグループを分析することが労働組合の組織化や強化につながります。 ファシリテーター：嶋岡聡（東京労連）、荻治（神奈川労連）、名取学（全労連）	○
51	904	ストに至った単組が躊躇・不安にどう直面し、乗り越えるか？ 25春闘でストに挑戦した、生協労連に集う三つの労働組合。なぜストを手にしたかおもうと思ったのか。執行部内部や職場ではどんな葛藤や不安があったか。覚悟を伴う「真の合意」はどうやって作れたのか。26春闘に向けて上部団体に求めるサポートはなにか。みんなで考える場にします。 ファシリテーター：内田和隆（生協労連おやかま） スピーカー：和田知恵（CXカーゴ労組）、小野祐二郎（コープぎふ労組）、山岸隆一（ララコープ労組）	○
30	905	「子どもたちにもう1人保育士を」～労働組合が社会を動かすヒント 愛知発の保育士配置基準改善の取り組みは全国に広がり、76年ぶりに4・5歳児の保育士配置基準を引き上げさせました。なぜ労働組合がこの運動に取り組むのか、「わたし」はなぜこの運動に関わったのか、取り組みの中での苦悩や喜びは？……どのような一人ひとりの立ち上がりがこの運動をつくってきたのか、各地からの報告をもとに考え合います。変えたい・動かしたいことがあるすべての労働組合のみなさん、ご参加ください！ ファシリテーター：薄美穂子（福祉保育労東海地本） スピーカー：田境敦（名古屋市職労）、黒田貴子（福祉保育労静岡県本部）、上野力（静岡県評）、佐藤完治（山形県労連）	○

分科会 番号	会場	分科会内容	途中 入退室
53	906	食欲と学習と交流はサンコイチ  腹が減っては労働組合活動はできぬ。美味しいものをみんなで一緒に食べて仲間意識を高めることから始まり、学習を進めています。「労働食堂」のスタートから10年、コロナ禍で停滞していた時期を乗り越えて、今、継続することの重要性とその困難を感じながらも労働組合の意義を一人でも多くの人に伝えたい、そして広げたい。 ファシリテーター：岡山医療生協労組	×

10月12日(日) 15:30～17:00 分科会E

54	403	やってみよう! 加入につながる対話トレーニング  「対話」を身体にしみ込ませ、自分のものにするには、実際の場面での「練習」が欠かせません。組合の魅力をどう伝え、安心して加入してもらうか? 3年連続過去最高の組合員数を更新した愛知県医労連で実践している、「楽しく仲間を増やす対話トレーニング」を体験して、持ち帰り、みなさんの組合でも試してみましょう。 ファシリテーター：愛知県医労連の仲間たち	○
55	404	労働相談活動をどう広げるか  全国各地で展開されている労働相談ホットライン。最近はハラスメント関連の相談が増え、複雑化していると言われています。また労働相談を受ける担い手づくりも課題です。多くの人が労働相談を受けることができるには? 経験を学び合ひましょう。 ファシリテーター：尾林哲也(首都圏青年ユニオン)	○
56	801	人権としての賃金・労働時間～最低賃金と職場の賃上げ  多くの職場や業界では、基本的人権が守られておらず、労働組合攻撃やハラスメントが起きています。就業規則で時間内の組合活動やビラ配布が制限されたり、携帯電話の持ち込みが禁じられたり、世界では許されない人権侵害の状況が当たり前になっています。人権侵害とも言える低すぎる最低賃金、全国どこで生活しても最低限人間らしく生きてゆける賃金として最賃制度のあり方を考えます。 ファシリテーター：全労連・全国一般、全労連・全国一般東京地本	○
57	802	全員対象のストライキをやってみて  毎年スト権投票の投票率が伸びないなか、要求実現に何が必要かをみんなで考え行動しました。会議のスタイルを変え自分ごとのたかひに変化していった過程と、実際にストライキをやってみて感じたことをお話しします。 ファシリテーター：おおさかパルコープ労働組合	○
58	804	障がいのある労働者と労働組合  低賃金、一般雇用の従業員との不合理な待遇格差、合理的配慮の不足。相談急増を背景に今年3月に首都圏青年ユニオン内に結成された障害者雇用分会。障害者雇用のたたかいと成果、課題についてお話しします。 ファシリテーター：富永華衣 スピーカー：チャレンジユニオン	○
59	805	ストを構える非正規公務員  団体行動権(ストライキ権)は憲法28条で認められた権利のはずだが、2020年4月を境に非正規公務員からその権利が剥奪された。なぜ剥奪されたのか。今後どのようにたたかえば良いのか。そんななか、ストを構えて雇い止め撤回を勝ち取った非正規公務員のたたかひに学びましょう。 ファシリテーター：原田仁希(東京公務公共一般労組)、松崎真介(東京公務公共一般労組)	○
60	806	青年部がない中で青年の運動をどうつくるか  石川県労連には、青年部がありません。東海北陸ブロックのサマーセミナーの取り組みをきっかけに青年の取り組みがはじまり、DJパーティを行ってきました。取り組みのなかで、全労連青年部のユニオンユースアカデミー沖縄平和ツアーに5人の青年が参加しました。順風満帆では、ありません。青年を組織する上での教訓や課題を共用したいです。 ファシリテーター：嵯峨猛(石川県医労連)	×
61	807	戦後80年を考える『猫は生きている』上映会  『猫は生きている』(75年公開 監督:島田開、原作:早乙女勝元・田島征三、東京大空襲をテーマとした人形劇)の映画鑑賞を通じて、戦争の悲惨さと平和の大切さを学びあう企画です。 ファシリテーター：梯 俊明(映演労連)	○

10月12日(日) 15:30～17:00 分科会E

	分科会 番号	会場	分科会内容	途中 入室
京橋会場	62	808	仲間を誘う対話のレシピ 声かけの難関を乗り越えよう  職場の仲間を組合加入や組合のイベントに誘いたくても、声をかけるのを躊躇していませんか？「断られたら」「うるさく思われたら」…そんな不安を乗り越え、声かけに踏み出す意識づくりを学びます。『対話をすすめる5つのレシピ』をもとにしたワークショップです。 ファシリテーター：大門晋平 (国公労連)	○
	63	809	「手法」から考える労働運動⑧  一人ひとりの関心を持ち寄るミーティング (大会や集会のつくり方) 実行力につながる会議等の運営手法「オープン・スペース・テクノロジー」を知っていますか？テーマに沿って参加者が議題を出し合い、自分の関心に応じて自由に議論に参加でき、その後の行動につなげていくという手法です。大阪府職労ではこの手法を用いて定期大会を開催し、実際にキャンペーンへと足を踏み出すという事例が生まれています。事例を紹介しつつ、実際に参加者みんなで体験する体験型分科会です。 ファシリテーター：小松康則 (大阪府職労)	○
	64	810	社会保障運動の沼にハマったひとにきいてみた！～労働組合と社会保障って、カンケイあるの？～  「労働組合にとって、賃金闘争とあわせて大切なのは社会保障運動」と言われても、実感のない人も多いはず。そんな人が、あるきっかけで、貧困などの社会保障制度の改善を求める運動に。「ハマったきっかけ」と「沼から見えること」を聞いたあと、少人数のグループに分かれて、印象に残ったことや「わたしと社会保障」について思うことなどを出し合います。 ファシリテーター：青山 光 (東京医労連)	○
八重洲会場	65	902	cafe&集いあいでつながりづくり ～組合と共済を一体に～  組合も共済も知らない仲間にとにかく存在を知ってもらうには？集まることが難しい仲間たちが集まるにはどうしたらいいの？「組合や共済のこと知ってほしい」「集まって語り合いたい」そんな願いを叶えとりくみを模索し続けています。悩みの中から生まれた2つの組織のとりくみを紹介し、教訓を参加者のみなさんと考え合いたい。参加者同士の経験や悩みも交流して「つながりづくり」のヒントをたくさん見つけましょう。 ファシリテーター：山本乃里子 (全教) スピーカー：浅野涼平 (全教千葉)、井深晴夫 (岐阜教組)	○
	66	903	対話と学びあいスクールⅢ  課題をキャンペーンにする オルガナイザーの仕事は、職場にあふれているいらだちや不満を組織化に繋げることです。対話で聞き出した不満を解決するキャンペーンを労働者と一緒に作る方法を、ワークショップを通じて学びます。 ファシリテーター：寺田勝弘 (千葉労連)、矢澤純 (千葉労連)	○
	67	904	学生から見る労使対等と賃金要求の仕方  法律では賃金等の決定は労使対等によるとされますが、現実には使用者側の立場が強いことがしばしばだと思います。それを学生がどう思っているかをお話するとともに、最低賃金等に関する要求の仕方を皆さんと考えたいと思います ファシリテーター：齋藤敦 (徳島文理大学)	○
	68	906	東アジアレイバーフェスとの連動企画Ⅲ  台湾の労組活動家と考える東アジアの労働者の連帯 東アジアレイバーフェスに参加した台湾の労働組合活動家を囲んで、台湾の労働組合運動に学び、日台、日本と東アジアの労働者、労働組合の運動の連帯の可能性を話し合います。 ファシリテーター：レイ・チェン (台湾派遣労働者組合)、布施恵輔 (全労連)	○
	69	905	最賃運動のモヤモヤ ～署名の先を考える  最賃運動は多くの成果をもたらす一方で、現場には「署名にどれだけの意味があるの？」「当事者不在の運動になっている」「最賃に力を入れても組織拡大にはつながらない」等のモヤモヤがあることも事実。そんなモヤモヤを共有して、これからの最賃運動と一緒に模索してみませんか。 ファシリテーター：内田和隆 (生協労組おかやま)、中澤秀一 (静岡県立大学短期大学部)	○
	70	906B	26春闘ネーミングを考えよう！  春闘は社会的運動です。全国津々浦々とSNS上で賃上げにYes！の声を広げるため、26春闘の愛称とキャラクターをつくり、動画、漫画、イラスト、歌など五感に訴え、あわよくば歌って踊れる春闘をみんなでつくってみませんか？経験不問。思い付き大歓迎。アイデアを出し合うためにわいわいがやがやと、ひたすら楽しく前向きな笑いの絶えない分科会です。 ファシリテーター：宮風耕治 (大阪国公)、石井直人 (大阪国公)	○



対話と学びあいの
実践広げよう!
see you again.

レバカレ2025



ようこそ！労働運動交流集会レバカレ2025へ — みんなでつくる Labor Union College —



全国労働組合総連合

日本のたたかう労働運動を新たなステージへ

労働運動交流集会“レバカレ2025”(レイバー・ユニオン・カレッジ)にご参加いただきありがとうございます。全労連が主催し、すべての組合員をはじめ、加盟する労働組合の枠を超えて多くの労働者や学者・研究者、弁護士、ジャーナリスト、学生などに参加を呼びかけ、3年かけて準備してきました。参加対象は全労連加盟組合に限らないオープン企画です。今回がはじめての開催です。

「日本のたたかう労働運動を新たなステージへ」をテーマに、日本のたたかう労働組合の前進をめざし、職場や地域で日々がんばる全国の労働組合の活動経験を、当事者であるみなさんが直接参加し、発信し、共有する「当事者参加型」の新しい集会です。

「対話と学びあい」で労働者をつなぐ

いま労働者の生活と労働の現場は、日々困難を極めています。資本の支配が強められ、政府と一体で搾取が強められています。「新たな戦前」と称される平和の危機が迫り、ファシスト政党など極右勢力の台頭で差別と偏見が社会に広げられてきています。労働者は、「声を上げれば叩かれることが怖い」など、声を上げられない閉塞感に覆いつくされているのではないのでしょうか。抑圧を実感できないほどに競争させられ分断されているのではないのでしょうか。

だからこそ、「対話と学びあい」で労働者をつなぐことが必要となっています。「要求できる」「声を上げることができる」「変えられる」という基本的人権と民主主義を労働者一人ひとりに取り戻すこと、基軸となる日本のたたかう労働運動の前進をめざし、開会します。

みんなでつくる集会です。みなさんの積極的な参加と交流で成功させましょう。



感想フォーム

対話と学びあいの
感想を次にいこう

分科会や
全体会の感想を

レバカレ実行委員会事務局

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F

TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620

MAIL: luc@zenroren.gr.jp